

## あとがき

川崎市部を立ち上げてしばらくすると、イベントへの参加者が固定化され、さらに参加者が減少する傾向が顕著になってきました。そこで川崎市部の基本方針として、一堂に会する機会だけでなく、何らかの方法で会員の参加意識の高揚を図れる機会を設けることにしました。

その一つが「個人の経験した事を気軽に会員に発信できる場」でした。当初は掲示板のようなものを考えていたのですが、歴史や地域の成り立ちに興味を持たれた方からの提案で、気楽にカワラ版的な物でも出そうではないかとなりました。ところが関係者の尽力により、毎月発信することが出来、気がつけば2018年の創刊号から第50号を数える程になりました。

武蔵工業会（武蔵工業大学の同窓会）から東京都市大学校友会と繋がる同窓会の活動としてこれだけの労力を結集した活動は過去に例がないと自負いたします。そこで今回その歴史をとどめる意味で製本版を作成することに致しました。

オンライン版から製本版に移行するに際し、内容の再チェックに時間をかけ、読みやすくするため必要に応じて見出しや、小見出しを付けました。また各テーマごとに見開き偶数ページに統一するために部分的な削除や加筆を加えたところがあります。

さらに「閑話休題」と称するコラムを新設し、本文との強弱を意識しました。

もとより文筆活動の専門家でもありませんし、専門編集スタッフもいない中ですので用語の統一等徹底していないところもありますが、ご笑納ください。

岸野 哲

### 執筆者一覧

河合節男・山岸一雄

### 編集者一覧

岸野哲・山岸一雄・河合節男

### 川崎支部役員一覧

山岸一雄・赤津武雄・岸野哲・吉野光春・加々見文子・衣斐喜美子・河合節男・  
親川芳和・松本浩一・大藪元宏

### 川崎支部便り発行基金寄付者一覧

山岸一雄・赤津武雄・岸野哲・加々見文子・河合節男・大藪元宏

出版を待たずに逝去された吉野光春氏に弔意を表します。